

山口県保健医療計画の進捗状況について

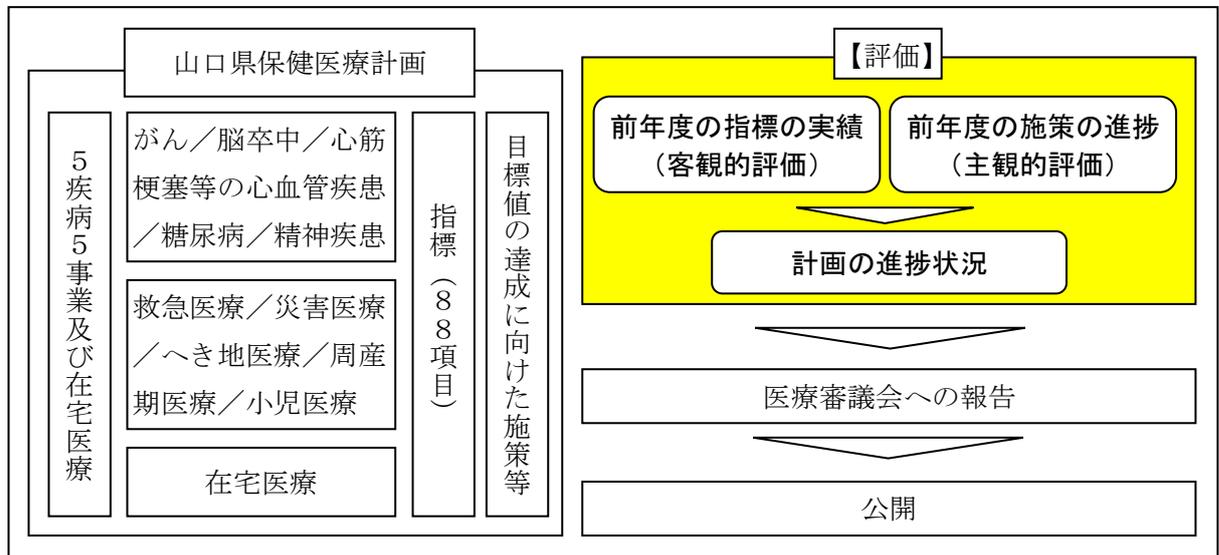
1 目的

第7次山口県保健医療計画（平成30年3月策定）の実効性を高めるため、目標値を設定した指標や目標値の達成に向けた施策等の進捗状況を把握、評価し、必要に応じて施策の見直しを図る。

2 対象

疾病又は事業ごとに設定した指標及び目標値の達成に向けた施策等

3 方法



4 評価結果

令和3年度の計画の取組は全体的に順調に推移しており、着実に計画の推進が図られている。

（1）指標の進捗状況（計画開始時点との比較）

達成	改善	維持・後退	その他
21項目 (23.9%)	30項目 (34.1%)	26項目 (29.5%)	11項目 (12.5%)

（2）施策等の進捗状況（計画終了時の達成見込み）

達成	順調	努力	その他
11項目 (12.5%)	30項目 (34.1%)	44項目 (50%)	3項目 (3.4%)

別添

山口県保健医療計画における施策の進捗状況（令和3年度）

※指標進捗状況:基準値に対する実績値の状況
 「◎(達成)」 「○(改善)」 「●(維持)」 「△(後退)」 「- (その



NO	区分	指標	単位	基準値	年又は年度	目標値	年又は年度	① 実績値	② 年又は年度	③ 指標進捗状況	④目標を達成するための施策等の取組	⑤施策の進捗状況			
												達成	順調	努力	その他
1	がん	がん年齢調整死亡率(75歳未満) (人口10万対)	-	男 102.1 (全国95.8)	28年	全国平均以下	R5年度	90.1 (全国86.0)	R元年	○	がん検診による早期発見の重要性等の普及啓発、がん診療連携拠点病院等の機能強化によるがん医療の充実など、総合的ながん対策の推進		○		
2	がん	がん年齢調整死亡率(75歳未満) (人口10万対)	-	女 58.8 (全国58.0)	28年	全国平均以下	R5年度	59.5 (全国55.2)	R元年	△				○	
3	がん	成人喫煙率	%	男 27.1	27年	男 16.4	R4年度	県民栄養調査の統計を使用 最新値なし	-	-	「県たばこ対策ガイドライン」に基づく、①受動喫煙防止、②喫煙防止(未成年、妊産婦等)、③禁煙支援を柱としたたばこ対策の実施				○
4	がん	成人喫煙率	%	女 6.9	27年	女1.6	R4年度	県民栄養調査の統計を使用 最新値なし	-	-					○
5	がん	がん検診受診率(胃がん) *市町、職域等を含む	%	男 43.5	28年	50以上	R5年度	44.7	R元年	○	がん征圧月間やピンクリボンキャンペーン等による普及啓発 休日・平日夜間がん検診体制整備による受診しやすい環境づくり等の推進		○		
6	がん	がん検診受診率(胃がん) *市町、職域等を含む	%	女 29.9	28年	50以上	R5年度	28.8	R元年	△				○	
7	がん	がん検診受診率(肺がん) *市町、職域等を含む	%	男 50.0	28年	50以上	R5年度	50	R元年	◎			○		
8	がん	がん検診受診率(肺がん) *市町、職域等を含む	%	女 37.5	28年	50以上	R5年度	38.9	R元年	○			○		
9	がん	がん検診受診率(大腸がん) *市町、職域等を含む	%	男 39.1	28年	50以上	R5年度	41.4	R元年	○			○		
10	がん	がん検診受診率(大腸がん) *市町、職域等を含む	%	女 29.2	28年	50以上	R5年度	30.2	R元年	○			○		
11	がん	がん検診受診率(子宮頸がん) *市町、職域等を含む、過去2年間の受診率	%	女 37.3	28年	50以上	R5年度	35.4	R元年	△				○	
12	がん	がん検診受診率(乳がん) *市町、職域等を含む、過去2年間の受診率	%	女 36.1	28年	50以上	R5年度	35.4	R元年	△				○	
13	がん	精密検査受診率(胃がん) *部位別(県平均)	%	男 86.6	27年度	90以上	R5年度	92.1	R元年度	◎		○			
14	がん	精密検査受診率(胃がん) *部位別(県平均)	%	女 94.8	27年度	90以上	R5年度	94.5	R元年度	◎		○			
15	がん	精密検査受診率(肺がん) *部位別(県平均)	%	男 89.6	27年度	90以上	R5年度	90.2	R元年度	◎		○			
16	がん	精密検査受診率(肺がん) *部位別(県平均)	%	女 93.0	27年度	90以上	R5年度	92.7	R元年度	◎		○			

別添

山口県保健医療計画における施策の進捗状況（令和3年度）

※指標進捗状況：基準値に対する実績値の状況
 「◎（達成）」「○（改善）」「●（維持）」「△（後退）」「－（その）」



NO	区分	指標	単位	基準値	年又は年度	目標値	年又は年度	① 実績値	② 年又は年度	③ 指標進捗状況	④目標を達成するための施策等の取組	⑤施策の進捗状況			
												達成	順調	努力	その他
17	がん	精密検査受診率(大腸がん) * 部位別(県平均)	%	男 75.4	27年度	90以上	R5年度	75.4	R元年度	●			○		
18	がん	精密検査受診率(大腸がん) * 部位別(県平均)	%	女 76.5	27年度	90以上	R5年度	77.8	R元年度	○			○		
19	がん	精密検査受診率(子宮頸がん) * 部位別(県平均)	%	女 68.5	27年度	90以上	R5年度	78.3	R元年度	○			○		
20	がん	精密検査受診率(乳がん) * 部位別(県平均)	%	女 93.7	27年度	90以上	R5年度	88.1	R元年度	△				○	
21	がん	職域保険者と協定を締結している市町数 (健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定書)	市町	3	28年度	19	R5年度	19	R2年度	◎	市町がん検診担当者連絡協議会の開催等による市町への助言・情報提供	○			
22	がん	がん治療認定医 (人口10万対医師数)	人	9.6 (全国平均11.6)	28年度	全国平均以上	R5年度	11.7 (全国13.6)	R2年度	○	医師の資格取得に対するがん診療連携拠点病院等への支援			○	
23	がん	がん認定看護師を配置する拠点病院等の数 (放射線療法、化学療法、緩和ケアの3分野全てを配置している病院)	箇所	4	29年度	8	R5年度	4	R元年度	●	認定看護師教育課程に看護師を派遣する医療機関への支援			○	
24	がん	院内緩和ケアチームを設置している医療機関数	箇所	21	29年度	増やす	R5年度	21	2元年度	●	がん医療従事者に対する緩和ケア研修の実施			○	
25	がん	地域がん登録・全国がん登録の精度指標	-	DCN 8.9% (H25年罹患症例)	28年度	精度基準Aを維持 DCI <20%	R5年度	3	R2年度	◎	がん登録実務担当者に対する研修の実施	○			
26	がん	地域がん登録・全国がん登録の精度指標	-	DCO 5.5% (H25年罹患症例)	28年度	精度基準Aを維持 DCO <10%	R5年度	2	R2年度	◎		○			
27	がん	地域がん登録・全国がん登録の精度指標	-	IM比 2.15 (H25年罹患症例)	28年度	精度基準Aを維持 IM比 ≥2.0	R5年度	2	R2年度	◎		○			
28	がん	がん相談支援センターの相談員のうち、「国立がん研究センター相談員基礎研修3課程」の修了者の割合	%	48	28年度	70	R5年度	80	R元年度	◎	がん相談支援センターの相談員に対する研修の実施	○			
29	脳卒中	脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)	-	男 37.9 (全国37.8)	27年	全国平均以下	R5年度	国統計を使用 最新値なし	-	-	やまぐち健幸アプリ等による特定健診受診率向上に向けた普及啓発			○	
30	脳卒中	脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)	-	女 21.2 (全国21.0)	27年	全国平均以下	R5年度	国統計を使用 最新値なし	-	-	「減塩プロジェクト事業」による食生活の改善や「やまぐち健康応援団」による健康づくりに向けた社会環境の整備の促進による予防対策の推進			○	
31	脳卒中	特定健康診査実施率	%	42.0	27年度	70	R5年度	49.6	R元年度	○	県ホームページ等広報媒体を活用した予防のための意識啓発			○	
32	脳卒中	特定保健指導の実施率	%	19.6	27年度	45	R5年度	21.9	R元年度	○				○	

別添

山口県保健医療計画における施策の進捗状況（令和3年度）

※指標進捗状況:基準値に対する実績値の状況
 「◎(達成)」「○(改善)」「●(維持)」「△(後退)」「- (その



NO	区分	指標	単位	基準値	年又は年度	目標値	年又は年度	①実績値	②年又は年度	③指標進捗状況	④目標を達成するための施策等の取組	⑤施策の進捗状況			
												達成	順調	努力	その他
33	脳卒中	収縮期血圧140mmHg 以上の人の割合の減少	%	男 21.1	25年度	男 19	R4年度	21.4	H30年度	△				○	
34	脳卒中	収縮期血圧140mmHg 以上の人の割合の減少	%	女 17.0	25年度	女 15	R4年度	16.5	H30年度	○				○	
35	脳卒中	LDL コレステロール160mg/dl 以上の人の割合の減少	%	男 13.8	25年度	男 9.8	R4年度	13.8	H30年度	●				○	
36	脳卒中	LDL コレステロール160mg/dl 以上の人の割合の減少	%	女 16.2	25年度	女 11.4	R4年度	15.5	H30年度	○				○	
37	脳卒中	特定健診受診者に占めるメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	%	25.2	27年度	18	R4年度	27.8	R元年度	△				○	
38	脳卒中	脳神経外科 人口10万対医師数	人	7.8 (全国平均5.8)	28年	全国平均以上	R5年度	7.4 (全国平均6.0)	H30年	◎	入学運動型の医師修学資金及び特定診療科枠の貸与(継続)		○		
39	脳卒中	神経内科 人口10万対医師数	人	3.9 (全国平均3.9)	28年	全国平均以上	R5年度	3.4 (全国平均4.1)	H30年	△				○	
40	脳卒中	脳梗塞に対するt-PAIによる血栓溶解療法の実施可能な病院数	箇所	11	27年度	維持または増やす	R5年度	17	R3年12月	◎	施設・設備整備への助成等により医療提供体制の充実を図った。		○		
41	心筋梗塞等の心血管疾患	虚血性心疾患年齢調整死亡率(人口10 万対)	-	男 16.9	27年	全国平均以下	R5年度	国統計を使用最新値なし	-	-	やまぐち健幸アプリ等による特定健診受診率向上に向けた普及啓発			○	
42	心筋梗塞等の心血管疾患	虚血性心疾患年齢調整死亡率(人口10 万対)	-	女 7.3	27年	全国平均以下	R5年度	国統計を使用最新値なし	-	-	「減塩プロジェクト事業」による食生活の改善や「やまぐち健康づくり応援団」による健康づくりに向けた社会環境の整備の促進による予防対策の推進			○	
43	心筋梗塞等の心血管疾患	特定健康診査実施率(再掲)	%	42.0	27年度	70	R5年度	49.6	R元年度	○	県ホームページ等広報媒体を活用した予防のための意識啓発			○	
44	心筋梗塞等の心血管疾患	特定保健指導の実施率(再掲)	%	19.6	27年度	45	R5年度	21.9	R元年度	○				○	
45	心筋梗塞等の心血管疾患	収縮期血圧140mmHg 以上の人の割合の減少(再掲)	%	男 21.1	25年度	男 19	R4年度	21.4	H30年度	△				○	
46	心筋梗塞等の心血管疾患	収縮期血圧140mmHg 以上の人の割合の減少(再掲)	%	女 17.0	25年度	女 15	R4年度	16.5	H30年度	○				○	
47	心筋梗塞等の心血管疾患	LDL コレステロール160mg/dl 以上の人の割合の減少(再掲)	%	男 13.8	25年度	男 9.8	R4年度	13.8	H30年度	●			○		
48	心筋梗塞等の心血管疾患	LDL コレステロール160mg/dl 以上の人の割合の減少(再掲)	%	女 16.2	25年度	女 11.4	R4年度	15.5	H30年度	○			○		

別添

山口県保健医療計画における施策の進捗状況（令和3年度）

※指標進捗状況：基準値に対する実績値の状況
 「◎（達成）」「○（改善）」「●（維持）」「△（後退）」「－（その）」

NO	区分	指標	単位	基準値	年又は年度	目標値	年又は年度	① 実績値	② 年又は年度	③ 指標進捗状況	④目標を達成するための施策等の取組	⑤施策の進捗状況			
												達成	順調	努力	その他
49	心筋梗塞等の心血管疾患	特定健診受診者に占めるメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合（再掲）	%	25.2	27年度	18	R4年度	27.8	R元年度	△				○	
50	心筋梗塞等の心血管疾患	循環器内科 人口10万対医師数	人	11.9 （全国平均9.8）	28年	全国平均以上	R5年度	12.6 （全国平均10.1）	H30年	◎	入学運動型の医師修学資金及び特定診療科枠の貸与（継続）			○	
51	心筋梗塞等の心血管疾患	冠動脈造影検査、治療が実施可能な病院数	箇所	24	26年度	維持または増やす	R5年度	26.0	H29年度	◎	施設・設備整備への助成等により医療提供体制の充実を図った。			○	
52	糖尿病	糖尿病年齢調整死亡率（人口10万対）	－	男6.6 （全国平均5.5）	27年	全国平均以下	R5年度	国統計を使用 最新値なし	－	－	やまぐち健幸アプリ等による特定健診受診率向上に向けた普及啓発				○
53	糖尿病	糖尿病年齢調整死亡率（人口10万対）	－	女2.0 （全国平均2.5）	27年	全国平均以下	R5年度	国統計を使用 最新値なし	－	－	「減塩プロジェクト事業」による食生活の改善や「やまぐち健康づくり応援団」による健康づくりに向けた社会環境の整備の促進による予防対策の推進				○
54	糖尿病	糖尿病有病者（HbA1c がNGSP 値6.5%以上）の割合	%	6.9	25年度	現状より増やさない	R4年度	6.9	H30年度	◎	県ホームページ等広報媒体を活用した予防のための意識啓発			○	
55	糖尿病	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者（HbA1c がNGSP 値8.4%以上の割合）	%	1.0	25年度	1.0	R4年度	1	H30年度	◎				○	
56	糖尿病	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	人	167	27年	160	R4年度	217	R2年度	△				○	
57	精神疾患	精神病床からの退院後1年以内の地域における平均生活日数	日	301	28年	316	R5年	301	H28年	－	退院後支援に関する計画を作成し、退院後の支援体制を構築するなどの取り組みを行っている。なお、「平均生活日数」については、H29以降、数値が公表されていないため、進捗状況が把握できない。				○
58	精神疾患	精神病床における入院後3か月時点の退院率	%	48.6	28年	56以上	R5年	48.6	H30年	●	退院後支援に関する計画を作成するなど、退院促進の取り組みを行っている。				○
59	精神疾患	精神病床における入院後6か月時点の退院率	%	73.0	28年	74以上	R5年	69.6	H30年	△					○
60	精神疾患	精神病床における入院後12か月時点の退院率	%	84.2	28年	85以上	R5年	78.7	H30年	△					○
61	精神疾患	精神病床における1年以上の長期在院者数	人	3,602	28年	2,855	R5年	3,543	R2年	○					○
62	精神疾患	自殺者の数（人口10万対）	人	15.8	28年	14.6以下	R5年	15.4	R元年	○	内科医や小児科医を対象に、うつ病等の治療方針の判断や精神科医への紹介方法等についての研修を実施するなど、自殺対策に取り組んでいる。			○	
63	精神疾患	認知症サポーター養成数（累計）	人	103,342	28年度	164,000	R5年度	143,511	R2年度	○	認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを県において養成				○

別添

山口県保健医療計画における施策の進捗状況（令和3年度）

※指標進捗状況：基準値に対する実績値の状況
 「◎（達成）」「○（改善）」「●（維持）」「△（後退）」「－（その）」

NO	区分	指標	単位	基準値	年又は年度	目標値	年又は年度	① 実績値	② 年又は年度	③ 指標進捗状況	④目標を達成するための施策等の取組	⑤施策の進捗状況			
												達成	順調	努力	その他
64	救急医療	二次三次救急医療機関の時間外救急患者のうち、特別な医療処置を必要としない者の割合	%	27.2	28年度	25.0	R5年度	20.3	R2年度	◎	救急医療機関の医療提供体制の充実に向けた取組の支援、適正受診の普及啓発や、救急医療電話相談による相談対応を行っている。	○			
65	救急医療	ドクターヘリのランデブーポイント数	箇所	405	28年度	420	R5年度	407	R2年度	○	市町の協力を得ながら追加確保に努めていく。				○
66	災害医療	耐震基準を満たす災害拠点病院・救命救急センターの割合	%	71	29年度	100	R5年度	87	R2年度	○	国庫補助制度の周知を図る等、耐震化を促進する。		○		
67	災害医療	災害医療コーディネーター数	人	8	29年度	24	R5年度	22	R2年度	○	研修を実施しコーディネーターの養成を図る。		○		
68	災害医療	初動体制やコーディネート体制を確認するための、県による災害訓練の実施回数	回	0	29年度	2	R5年度	0	R2年度	－	R2年度はコロナ禍のため実施できず。R1年度は3回で目標達成。				○
69	災害医療	地域の二次救急医療機関や医療関係団体とともに定期的に訓練を実施している災害拠点病院の割合	%	77	29年度	100	R5年度	87	R2年度	○	関係者会議での情報共有等、訓練の実施を促進する。				○
70	災害医療	災害時小児周産期リエゾン任命者数	%	11	R2年4月	15	R5年4月	11	R3年4月	●	国が実施する災害時小児周産期リエゾン養成研修への受講者の推薦		○		
71	へき地医療	「地域医療セミナー」への医学生・看護学校生の参加人数（累計）	人	39	29年度	280	R5年度	208	R3年度	○	R2から全県開催とし、取り組みを強化。コロナ禍でもオンライン開催。		○		
72	へき地医療	へき地医療拠点病院からへき地診療所への代診医派遣日数	日	64.5	28年度	増やす	R5年度	60	R2年度	△	自治医科大学卒業医師の派遣、地域医療を支える医師確保促進事業により、へき地医療拠点病院の医師派遣機能を強化。				○
73	へき地医療	へき地で勤務する総合診療専門研修プログラム専攻医数（累計）	人	7	29年度	25	R5年度	17	R3年度	○	へき地医療人材養成・定着促進事業によりプログラムの内容を充実。				○
74	へき地医療	へき地医療拠点病院の中で巡回診療・医師派遣・代診医派遣の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合	%	85.7	R1年度	100	R5年度	85.7	R2年度	●	自治医科大学卒業医師の派遣、地域医療を支える医師確保促進事業により、へき地医療拠点病院の医師派遣機能を強化。		○		
75	周産期医療	周産期死亡率（10年間の平均）	－	3.9 （全国平均4.0）	19～28年	全国平均以下	26～R5年	3.7 （全国平均3.6）	H23～R2年	●	周産期母子医療センターを中心としたハイリスク妊産婦・新生児の医療提供体制の強化		○		
76	周産期医療	産婦人科・産科 15～49歳女子人口10万対医師数	人	48 （全国平均43.6）	28年	全国平均以上	R5年度	47.7 （全国平均44.6）	H30年	◎	入学連動型の医師修学資金及び特定診療科枠の貸与（継続）		○		
77	周産期医療	災害時小児周産期リエゾン任命者数（再掲）	%	11	R2年4月	15	R5年4月	11	R3年4月	●	国が実施する災害時小児周産期リエゾン養成研修への受講者の推薦		○		
78	小児医療	小児科 小児人口10万対医師数	人	105.4 （全国平均107.3）	28年	全国平均以上	R5年度	112.4 （全国平均112.4）	H30年	◎	入学連動型の医師修学資金及び特定診療科枠の貸与（継続）		○		
79	小児医療	小児救急医療電話相談事業の相談件数	件	10,463	28年度	12,000	R5年度	7,202	R2年度	△	コロナの影響（コロナ相談ダイヤルやかかりつけ医に直接相談）により、全国的に相談件数が減少傾向				○

別添

山口県保健医療計画における施策の進捗状況（令和3年度）

※指標進捗状況:基準値に対する実績値の状況
 「◎(達成)」 「○(改善)」 「●(維持)」 「△(後退)」 「- (その



NO	区分	指標	単位	基準値	年又は年度	目標値	年又は年度	① 実績値	② 年又は年度	③ 指標進捗状況	④目標を達成するための施策等の取組	⑤施策の進捗状況				
												達成	順調	努力	その他	
80	小児医療	小児救急医療地域医師研修受講者数	人	延べ1,644	25～28年度	延べ2,500	30～R5年度	延べ2,519	H27～R2年度	◎	小児科以外の医師に対する小児初期救急医療の研修の実施		○			
81	小児医療	災害時小児周産期リエゾン任命者数(再掲)	%	11	R2年4月	15	R5年4月	11	R3年4月	●	国が実施する災害時小児周産期リエゾン養成研修への受講者の推薦		○			
82	在宅医療	訪問診療を行う診療所・病院数	箇所	290	29年度	345	R5年度	303	R3年度	○	医師会等と連携し、在宅医療機関の確保や連携体制の構築等を図った。				○	
83	在宅医療	在宅療養支援診療所・病院数	箇所	157	29年度	165	R5年度	164	R3年度	○				○		
84	在宅医療	在宅療養後方支援病院数	箇所	9	29年度	15	R5年度	10	R3年度	○					○	
85	在宅医療	在宅療養支援歯科診療所数	箇所	156	29年度	180	R5年度	177(114)	R3年度	○	山口県在宅歯科保健医療連携室をはじめとした、等しく適切な歯科保健医療サービスの利用が可能な環境整備				○	
86	在宅医療	訪問口腔衛生指導を実施している診療所・病院数	箇所	81	R2年度	増やす	R5年度	国統計を使用最新値なし	-	-						○
87	在宅医療	訪問看護ステーション数	箇所	125	29年度	163	R5年度	156	R3年4月	○	市町と連携した、居宅サービスの提供体制整備の促進				○	
88	在宅医療	地域医療介護連携情報システム整備圏域数	圏域	3	29年度	8	R5年度	8	R2年度	◎	多職種が情報を共有する「地域医療介護連携情報システム」の構築を支援した。	○				